安保破棄中央実行委員会
メールニュース

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】

No.20-47
2020年10月1日

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764　FAX03-3264-4765

関東一円が危険な訓練空域
陸自オスプレイ配備を撤回せよ
安保破棄中央実行委員会が防衛省要請

安保破棄中央実行委員会は 9 月 30 日、千葉県木更津市の陸自木更津駐屯地への陸自Ｖ22 オスプレイ配備の撤回などを求める防衛省要請をおこないました。

東森英男事務局長は、「オスプレイはオートローテーション機能もなく、事故で多くの死亡者を出している欠陥機である」「千葉県及び関東一円での飛行、特に学校、幼稚園・保育所、病院などの飛行は行わないこと」などを要請し、配備撤回を強く求めました。

防衛省の担当者は、「オスプレイは航続距離や速さなどで島嶼防衛に適している」ことを強調し、配備撤回はしないと回答。オートローテーション機能については「米側の技術情報や訓練シュミレーターで確認している」と繰り返し強弁しました。学校など住宅密集地上空の飛行については「天候状況や機体の不具合などの場合には、上空飛行もありえる」と回答し参加住民から怒りの声が出されました。

住民らからは、住宅密集地の飛行ルートなどを文書で明らかにして自治体・住民に公表するよう求めました。

今回の要請には全労連、民医連、日本平和委員会、国賠同盟、千葉・東京・群馬の住民と、日本共産党からは畑野君枝衆院議員ら 20 名が参加しました。

防衛省 辺野古新基地の設計変更承認申請
「変更申請不許可に」の意見書提出 6000件超える

辺野古新基地建設の設計変更への意見書は、9 月 24 現在で 5992 件でした。県内各地の縦覧場所から集約が終わっていないので、正式公表は未定です。

普天間流失の泡消火剤に有害物質

地位協定 抜本改定 意見書

群馬県沼田市・利根郡川場村で採択
9道県201市町村 計210

群馬県沼田市と利根郡川場村の両議会は「日米地位協定の抜本改定」を求める意見書を採択したことが分かりました。

群馬県はこの間、甘楽町、渋川市が採択されており、計4市町村になりました。

2018年7月に全国知事会が「米軍基地負担に関する提言」を採択した後、「日米地位協定の抜本改定」を求める地方議会意見書は9月25日現在、9道県201市町村になり全国自治体（1788）の11.7％になりました。

全国の意見書採択の自治体は、安保破棄中央実行委員会のホームページでご覧ください。

岩国配備と同型F35B米で墜落　訓練中に接触

（東京新聞 10/1 付より）

防衛省中国四国防衛局から山口県岩国市に入った連絡によると、米カリフォルニア州で日本時間 30 日（現地時間 29 日）、米軍の最新鋭ステレス戦闘機Ｆ３５Ｂが訓練中にＫＣ１３０空中給油機と接触、墜落した。岩国基地に 10 月から追加配備予定の戦闘機と同型機で、県や岩国市は基地に原因究明を求めた。

岩国基地には既に 16 機配備されている。県の村岡嗣政知事は 29 日に追加配備を容認する意向を示したばかりだった。（中略）

岩国市によると、30 日、基地の担当者に口頭で「米国での事故とはいえ、基地の周辺住民に大きな不安を与えている」として、事故の詳細な情報を提供するよう要請した。